

FMV
シンククライアント

B6FJ-0271-01

FMV
LIFEBOOK

FMV- TC8270

取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目次

マニュアルのご紹介

本書をお読みになる前に	3
1. 必ずお読みください	19
インターフェースのご使用について	19
設定の変更について	19
疲れにくい使い方	19
使用上のお願い	20
電源を入れる	23
セットアップ	24
電源を切る	25
2. 必要に応じてお読みください	27
BIOS の設定をご購入時の状態に戻す	27
リカバリ	27
リカバリを実行する	27
廃棄・リサイクル	29
お問い合わせ先について	

マニュアルのご紹介

●添付の紙マニュアル

○『はじめに添付品を確認してください』

添付の機器、マニュアル、ディスクなどの一覧です。

ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。欠品などがあった場合は、できるだけ早くご購入入力にご連絡ください。



○『取扱説明書』（本書）

使用上のご注意、パソコンを使うための準備、ご購入時の状態に戻す方法などを説明しています。



●インターネット上のマニュアル

○『FMV マニュアル』

「FMV マニュアル」には、パソコンの使い方について説明したマニュアルが用意されています。

ブラウザを開き、次の URL (<http://www.fmwworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/>) を直接入力してください。ページが表示されましたら、製品カテゴリーから「FMV シンクライアント」を選択し、その後「シリーズ名」、「製品名」の順に選択してご覧ください。



○ 本体のマニュアル『製品ガイド』

パソコン本体のマニュアルです。機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティングなど、パソコンの使い方について説明しています。



○ 機能別のマニュアル

カスタムメイドで選択した機器をお使いになるときに必要な内容が記載されている機能別のマニュアルを用意しています。該当するマニュアルをご覧ください。

目的にあわせてお読みください

(■：添付の紙マニュアル、□：インターネット上のマニュアル)

- ・箱の中身を確認する..... ■『はじめに添付品を確認してください』
 - ・パソコンを使うための準備をする.... ■『取扱説明書』の「必ずお読みください」
 - ・シンクライアントの機能について.... □『製品ガイド』の「特長」
 - ・各部の名称や取り扱い方..... □『製品ガイド』の「各部名称」
 - ・周辺機器の取り付け方法..... □『製品ガイド』の「周辺機器の設置／設定／増設」
 - ・添付のソフトウェアについて..... □『製品ガイド』の「ソフトウェア」
 - ・パソコンのお手入れについて..... □『製品ガイド』の「お手入れ」
 - ・トラブルの解決方法..... □『製品ガイド』の「トラブルシューティング」
 - ・ソフトウェアについて..... □『製品ガイド』の「ソフトウェア」
 - ・仕様について..... □『製品ガイド』の「仕様一覧／技術情報」
 - ・ご購入時の状態に戻す..... ■『取扱説明書』の「リカバリ」、「リカバリを実行する」
- 「トラブルシューティング」を読んでも解決しない場合は、「FMV シリーズをお使いになる上での注意事項」をご覧ください。
(「FMV マニュアル」のページ (上記 URL) からご覧いただけます。)

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複製して、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 複製
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
- 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 壁紙の使用条件
本製品に「FUJITSU」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
- 保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関して、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

Microsoft® Windows XP Embedded 日本語版

ライセンス数：1

エンドユーザ使用許諾契約書

重要 — 以下のライセンス契約書を注意してお読みください。

- お客様が富士通株式会社（以下「富士通」といいます）からお求めいただいた装置（以下「本装置」といいます）は、富士通が Microsoft Corporation の関連会社（以下「MS」といいます）からライセンスを受けているソフトウェアを含んでおります。本装置にインストールされている MS のこれらのソフトウェア製品、ならびに付随するメディア、印刷物、およびオンラインでもしくは電子的に提供される文書（以下総称して「本ソフトウェア」といいます）は著作権その他の知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。富士通、MS、および MS のサプライヤは、本ソフトウェアの権原、著作権、およびその他の知的財産権を所有しています。本ソフトウェアは販売されるのではなく、使用権を許諾するものであり、すべての権利は留保されています。

・ エンドユーザライセンスの証明

お客様が装置、もしくはコンパクトディスクまたは他のメディアにインストールされた本ソフトウェアを入手した場合、本ソフトウェアの真正なコピーとともに提供される、MS の真正な「ライセンスの証明 (Certificate of Authenticity)」が、本ソフトウェアが正当にライセンスされたコピーであることの証明となります。Certificate of Authenticity ラベル (以下「COA ラベル」といいます) が装置、または製造会社のソフトウェアパッケージに見えるように貼られていない場合、それは有効ではありません。装置の製造会社以外の第三者から、お客様が COA ラベルと装置を別々に受け取られた場合は、その COA ラベルは無効となります。お客様は、本ソフトウェアを使用するためにライセンスされたことを証明するために、その COA ラベルを装置又はパッケージから取り外さないものとします。本ソフトウェアが真正なものであり、本ソフトウェアについての真正な COA ラベルが添付されている場合に限り、このエンドユーザ使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は有効となり、お客様に使用権を与えるものです。お客様のソフトウェアが本物であるかどうか特定する詳しい情報については、<http://www.microsoft.com/privacy/howtotell> をご覧ください。

- ・ お客様が本契約書に同意されない場合には、本装置の使用、および本ソフトウェアのコピーはできません。この場合、速やかに富士通までご連絡頂き、未使用の本装置の返却についての指示を受け、手続きを行ってください。本装置及び本ソフトウェア等の使用は、お客様による本契約に対する同意 (もしくは既に為した同意の承認) とみなされます。本契約により、お客様には下記のライセンスが許諾されます。

ソフトウェアライセンスの許諾

本契約は以下のライセンスをお客様へ許諾します。

- ・ お客様は、本装置においてのみ本ソフトウェアを使用することができます。

製品特定の条項:

・ 機能の制限

お客様は、本装置向けの、以下に示す特定された機能に限ってのみ本ソフトウェアを使用するライセンスを許諾されるものであり、本装置はそのような機能に合わせて富士通が設計し、販売するものです。かかるライセンスは、本ソフトウェアまたは機能を他の目的で使用すること、および本装置のそれらの機能を直接補充するものでないような他のソフトウェアまたは機能を追加することを特に禁止しています。ただし、お客様は、装置の管理、パフォーマンス強化、そして予防保守のみを目的として、システムユーティリティ、リソース管理、または同様のソフトウェア (例: ウイルス除去ソフト) をインストールし、本装置上で動作させることができます (以下「サポートソフトウェア」といいます)。お客様は、サポートソフトウェアに関して以下の事項について承認し、同意するものとします。

- サポートソフトウェアは本装置上の本ソフトウェア上で動作しない可能性があります。
- マイクロソフトまたはその関連会社は、お客様が装置にインストールされるサポートソフトウェアについて、何等の保証もいたしません。
- マイクロソフトまたはその関連会社は、お客様が本装置上にインストールされるいかなるサポートソフトウェアの技術サポートにも責任を負いません。

お客様が装置にインストールを考えているサポートソフトウェアに関して質問がある場合は、富士通までご連絡ください。

・ 装置接続

お客様は、本装置において、本ソフトウェアを同時に3以上のプロセッサで使用することはできません。本装置が上記の「機能の制限」の条件に反しない限り、お客様は、最大10個 (以下「最大接続数」といいます) のコンピュータまたはその他の電子デバイスから本装置に接続して、ファイルとプリンタのサービス、インターネットの情報サービス、およびリモートアクセス (接続の共有を含みます) のために本ソフトウェアサービスを使用することができます (かかる最大接続数は、本装置上の他のソフトウェアにアクセスするために、または、他の本ソフトウェアサービスを利用するために本装置への接続が許諾されているコンピュータまたはその他の電子デバイスの数を制限するものではありません)。ただし、接続数をプールのまたは一体化する「マルチプレキシング」またはその他のソフトウェア、ハードウェアを利用する場合であっても、間接的な接続数は上記の最大接続数という制限を越えてはならないものとします。

・ クライアントアクセスライセンス

お客様が、本装置を使用して Microsoft Windows Server 製品 (例えば、Microsoft Windows 2003 Server) のサービスまたは機能にアクセスまたはこれらを利用する場合、または、本装置をワークステーションまたはコンピューティングデバイスに接続して、Microsoft Windows Server 製品のサービスまたは機能にアクセスまたはこれらを利用する場合、お客様は、本装置、各ワークステーションまたはコンピューティングデバイス毎に、Client Access License の取得を要求される場合があります。追加情報に関しては、Microsoft Windows Server 製品に関する使用許諾契約書をご参照ください。

・ リモートデスクトップ接続 / NETMEETING / リモートアシスタンス機能

本ソフトウェアには、本ソフトウェアまたはその他のアプリケーションソフトウェアが本装置1台にのみインストールされている場合でも、本装置にインストールされている本ソフトウェアまたはその他のアプリケーションソフトウェアを複数のコンピュータ間で使用することができる NetMeeting、リモートアシスタンスおよびリモートデスクトップ接続技術が含まれている場合があります。その場合、お客様は、これらの NetMeeting、リモートアシスタンス、およびリモートデスクトップ接続技術と共に全てのマイクロソフト製品を使用することができます。ただし、特定のマイクロソフト製品をこれらの技術と共に使用する場合には、追加のライセンスが必要となる場合があります。NetMeeting、リモートアシスタンスまたはリモートデスクトップ接続技術を使用する際の追加ライセンスの必要性の有無に関しては、マイクロソフト製品であるかどうかを問わず、該当する製品に付属の使用許諾契約書をご参照いただくか、または、その許諾者にご確認ください。

・ 自動的なインターネットベースのサービス

以下で説明する本ソフトウェアの機能は、お客様への予告なしに本装置がインターネットを通してマイクロソフトコンピュータ・システムへ自動的に接続するように設定されています。お客様が、これらの機能を無効にしない限り、これらの機能が動作することに同意したものとみなされます。マイクロソフトはお客様の個人情報取得のためにこれらの機能を使用するものではありません。これらの機能に関する詳しい情報については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=25243> の「プライバシーに関する声明」をご覧ください。

・ **Web コンテンツの機能:** 本ソフトウェアの初期設定では、お客様がインターネットに接続された場合、本ソフトウェアのいくつかの機能が、マイクロソフトコンピュータ・システムから内容を検索し、表示するように設定されています。お客様がそのような機能を有効にしていると、標準のインターネットプロトコルを使用して、本装置がコンテンツを適切に表示できるように、マイクロソフトコンピュータ・システムに対し、本装置のオペレーティングシステム、ブラウザおよび言語コードのタイプを伝えます。お客様がそれらを有効にするとこれらの機能のみ作動しますが、お客様はその機能を無効にすることができます。これらの機能に関する例は、ヘルプとサポートセンターに関する Windows カタログ、サーチャシスタントおよび、ヘッドライン機能などです。

・ **デジタル証明書:** 本ソフトウェアは x.509 規格に基づくデジタル証明書を使用しております。デジタル証明書は x.509 規格の標準暗号情報を送るインターネットユーザの身元を確認します。本ソフトウェアは、証明書を検索し、証明書無効リストをアップデートします。お客様がインターネットをご使用時のみ、これらのセキュリティ機能は実行されます。

・ **自動ルートをアップデート:** 自動ルートをアップデートの機能は、信頼されたルート証明機関のリストをアップデートします。お客様は自動ルートをアップデートの機能を無効にすることができます。

・ **Windows Media Player:** お客様が Windows Media Player またはその特定の機能をご使用になる場合、Windows Media Player は自動的にマイクロソフトコンピュータ・システムに接続し、以下の機能を実行します。

- お客様が再生しようとするコンテンツに合ったコーデックが本装置に含まれていない場合、新しいコーデックを確認します (この機能は、無効にできません)。
- Windows Media Player の新しいバージョンかどうかをチェックします (この機能は、お客様が Windows Media Player をご使用されているときのみ動作します)。

- Windows Media Digital Rights Management:** コンテンツプロバイダーはコンテンツの完全性を保護するために、このソフトウェアに含まれるデジタル権利管理技術（以下「WM-DRM」といいます）を使用しているため、そのようなコンテンツの著作権等の知的財産権は不正利用されることはありません（以下、そのように保護されたコンテンツを「セキュアコンテンツ」といいます）。Media Playerのようなソフトウェアやサード・パーティーアプリケーションの一部は、セキュアコンテンツ再生のために WM-DRM を使用しています（以下、そのようなソフトウェアを「WM-DRM ソフトウェア」といいます）。WM-DRM ソフトウェアのセキュリティが弱められると、セキュアコンテンツの所有者（以下「セキュアコンテンツ所有者」といいます）は、MS に対して、セキュアコンテンツをコピー、表示、または再生するための WM-DRM ソフトウェアの権利を取り消すよう要求するかもしれません。WM-DRM ソフトウェアの権利が取消された場合でも、WM-DRM により保護されていないコンテンツの再生は妨げられません。お客様がセキュアコンテンツを再生する為にインターネットからライセンスをダウンロードする際に、上記規定に従い権利が取消された WM-DRM ソフトウェアのリストをお客様の本装置に送られます。そのようにして、MS がライセンス関連のセキュアコンテンツ所有者に変わって当該取消リストをお客様の本装置にダウンロードすることができます。セキュアコンテンツ所有者は、お客様がコンテンツにアクセスされる前にソフトウェアに含まれる WM-DRM コンポーネントをアップグレード（以下「WM-DRM アップグレード」といいます）することを、お客様に要求することができるものとします。お客様がコンテンツの再生を試みる場合、MS が作成した WM-DRM ソフトウェアが、WM-DRM アップグレードが必要であることをお客様に通知します。WM-DRM アップグレードのダウンロードには、お客様の同意が必要となります。MS 以外の第三者が提供する WM-DRM ソフトウェアも同じ扱いをすることができます。お客様がアップグレードを拒否される場合、WM-DRM アップグレードを必要とするコンテンツにアクセスすることはできませんが、保護されていないコンテンツとアップグレードを必要としないセキュアコンテンツにアクセスすることができます。新しいライセンスを取得、または、必要な WM-DRM アップグレードを実行するために、インターネットにアクセスする WM-DRM の機能は無効にすることもできます。これらの機能が無効とされた場合でも、既にお客様の装置に格納された有効なライセンスがあれば、セキュアコンテンツを再生することができます。

・MPEG-4 映像規格に関するお知らせ

本ソフトウェアは MPEG-4 映像復号技術を含んでいる場合があります。この技術はビデオ情報のデータ圧縮のためのフォーマットです。以下の注意書きは MPEG LA, L.L.C. の要求により表示するものです。

以下に直接関連する場合を除き、MPEG-4 映像規格に準拠して本製品を使用することは、全て禁止されています。

- 事業に従事しない消費者より作成され、かつ、無償で取得されるかまたは、
- 個人使用の目的でのデータまたは情報

(B) MPEG LA, L.L.C. により別途特別のライセンス許諾を受けたその他の使用

この通知について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. にお問い合わせください。

住所：250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206

TEL: 303-331-1880, FAX: 303-331-1879, URL: <http://www.mpegla.com>

一般事項：

・バックアップコピー

お客様は本ソフトウェアのバックアップコピーを 1 部作成することができます。お客様は保存目的や本ソフトウェアを装置に再インストールする場合にのみ、このバックアップコピーを使用することができます。本契約またはお客様に適用されるその他の法律によって明示的に認められている場合を除き、お客様は本ソフトウェアと同梱されている印刷物を含む本ソフトウェアのコピーを作成することができません。また、バックアップコピーを第三者に貸与、貸借、貸出、譲渡することはできません。

・ソフトウェアの譲渡

このライセンスは、同時に異なったコンピュータ間で共有、譲渡、使用することはできません。本ソフトウェアは、本装置と統合された一製品として許諾されており、本装置と共に使用することのみが許諾されています。本装置と切り離して、本ソフトウェアを使用することはできません。お客様は、本契約に基づいたお客様のすべての権利を、お客様が複製物を保有せず、本装置を売却または譲渡する場合にのみ恒久的に譲渡することができます。本ソフトウェアがアップグレードである場合、譲渡は必ず本ソフトウェアの以前のバージョンを含んだものでなければなりません。また、この譲渡の際は、COA ラベルも譲渡しなければなりません。委託などの間接的な譲渡は、ここで言う譲渡には含まれません。本ソフトウェアの譲渡を受ける第三者は、譲渡の前に本契約のすべての条項に同意しなければなりません。

本ソフトウェアは、障害が発生しても動作を続行できるフォールトトレラント性を備えています。本装置において本ソフトウェアをいかに使用するかは富士通が独自に決定したものです。本ソフトウェアにかかる使用への適合性を判断するにあたっての十分な検証は富士通により実施されたものであり、MS は富士通自身の検証を信頼するのみです。

・本ソフトウェアに対する無保証

本ソフトウェアは現状有姿かつ瑕疵を問わない条件で提供されています。本ソフトウェアがお客様にとって満足できる品質、性能、正確性を有しているか、およびそのための注意義務の程度（過失の存在を含みます）に関する全ての危険は、お客様が負担しなければなりません。また、本ソフトウェアの平穩享有の妨害または権利侵害に対する保証を一切いたしません。お客様が本装置または本ソフトウェアに関する保証を受けた場合、かかる保証は MS からのものではなく、MS を拘束するものではありません。

・損害に関する免責

法律で制限される場合を除き、本ソフトウェアの使用または動作に關して生じるいかなる間接損害、特別損害、派生的損害または付随的損害に関しても富士通および MS は一切責任を負いません。たとえいかなる救済手段をもってしてもその実質的目的を達せない場合でも、上記の責任制限が適用されます。いかなる場合も富士通または MS の責任は、250 米ドル相当額を超えないものとします。

・ハイセイフティ

本ソフトウェアは、ハイセイフティ用途での使用または販売を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、生命・身体に対し重大な危険性を伴う用途をいいます。例：原子力施設の運営、航空機飛行制御・交通システム、航空交通管制、生命維持のための医療用機器など。また、お客様がハイセイフティ用途に本装置または本ソフトウェアを使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通、MS およびそれらの関連会社は責任を負わないものとします。

・リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限

お客様は、法律により明示的に認められている場合を除き、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

・レンタル不可／営利目的のホスティング

お客様は、第三者へ本ソフトウェアと共に営利目的のホスティングサービスとしてレンタル、リース、貸出または提供することはできません。

・コンポーネントの分離

本ソフトウェアは 1 製品として許諾されています。本ソフトウェアを構成する部分を 1 台以上の装置のご使用のために切り離してご使用することができます。

・データの使用に関する承諾

お客様は、MS、マイクロソフトおよびそれらの関連会社が、本ソフトウェアに関連した製品サポートサービスの一部として集めた技術情報を収集して使用することを承諾するものとします。ただし、MS、マイクロソフトおよびそれらの関連会社は、製品の向上のため、またはお客様へのカスタマイズされたサービス・技術の提供目的にのみ、この情報を活用できるものとします。MS、マイクロソフトおよびそれらの関連会社は、第三者にこの情報を開示できるものとしますが、その場合、お客様を特定するような方法で開示しないものとします。

・手書き認識

本ソフトウェアに手書き認識のコンポーネントが含まれている場合、手書き認識は本質的に統計的な処理であり、認識の際の誤りは発生するものとご理解ください。また、そのような認識の誤りが発生した場合には、お客様の責任において、修正してください。富士通、MS、マイクロソフトおよびそれらに対する供給者は、いずれもこの手書き認識における誤りから生じる損害については、一切責任を負わないものとします。

・音声認識

本ソフトウェアに音声認識のコンポーネントが含まれている場合、音声認識は本質的に統計的な処理であり、認識の際の誤りは発生するものとご理解ください。また、そのような認識の誤りが発生した場合には、お客様の責任において、修正してください。富士通、MS、マイクロソフトおよびそれらに対する供給者は、いずれもこの音声認識における誤りから生じる損害については、一切責任を負わないものとします。

・インターネットゲーム/アップデート機能

本ソフトウェアにインターネット・ゲームまたはアップデート機能が含まれている場合、お客様がそれらの機能を使用するためには、特定のコンピュータシステム、ハードウェア、およびソフトウェアに関する情報が必要となります。これらの機能を使用することにより、お客様は、MS、マイクロソフト、またはその指定代理人に対して、製品の向上のため、またはお客様へのカスタマイズされたサービス・技術を提供目的にのみこの情報を使用する権限を与えるものとします。MS もしくはマイクロソフトは、第三者にこの情報を開示することができるものとしますが、その場合、お客様を特定するような方法で開示しないものとします。

・インターネットベースのサービス コンポーネント

本ソフトウェアに特定のインターネットベースのサービスの使用を可能にするコンポーネントが含まれている場合、お客様は、MS、マイクロソフトまたはそれらの関連会社が、お客様が使用している本ソフトウェアまたはそのコンポーネントのバージョンを自動的にチェックして、本ソフトウェアのアップグレードまたは修正がおお客様の本装置に自動的にダウンロードされるようにする場合があることを認め、これに同意するものとします。マイクロソフトまたはそれらの関連会社は、お客様個人の特定またはお客様へのご連絡に使用する情報の取得のためにこれらの機能を使用することはありません。これらの機能に関する詳しい情報に関しては、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=25243> の「プライバシーに関する声明」をご覧ください。

・商標

本契約は富士通、MS、マイクロソフトまたはそれらのサブライヤの商標、サービスマークに関するいかなる権利もお客様に許諾するものではありません。

・製品のサポート

本ソフトウェアの製品サポートは、MS、その親会社である Microsoft Corporation あるいはこれらの関連会社もしくは子会社が提供するものではありません。製品のサポートについてお問い合わせの際には、本装置の添付文書に記載の富士通のサポート番号をご利用ください。本契約についてのご質問、またはその他の理由により、富士通にお問い合わせいただく場合には、本装置の添付文書に記載の連絡先までお願いいたします。

・第三者のサイトへのリンク

お客様は、本ソフトウェアを使用して第三者のサイトへ接続することが可能となります。第三者のサイトは、MS、マイクロソフトまたはそれらの関連会社の管理のものではなく、MS、マイクロソフトは、いかなる第三者のサイトのコンテンツの内容、第三者のサイトに含まれるリンク、またはそれらの変更もしくは更新についても責任を負いません。MS、マイクロソフトは、いかなる第三者のサイトから受信されたウェブキャストまたはその他のいかなる形式の送信についても責任を負いません。MS、マイクロソフトは、お客様への便宜の一つとしてのみ第三者のサイトへのリンクを提供しているのであって、いかなるリンクが含まれていても、そのことが MS、マイクロソフトによる第三者のサイトの推奨を意味するものではありません。

・ソフトウェアおよびサービスの追加

本契約は、お客様がアップデートされた条項または別契約の適用に同意されない限り、本ソフトウェアの最初のコピーをお客様が取得した以降、富士通、MS、マイクロソフトまたはそれらの子会社から提供された、本ソフトウェアのアップデート、機能追加、アドオン コンポーネント、製品サポートサービス、またはインターネットベースのサービスコンポーネント（以下、"追加コンポーネント" という）に適用されます。追加コンポーネントが MS、マイクロソフトまたはそれらの子会社によってお客様に提供される場合に、本契約と異なる規定が提供されなかった場合は、本契約の条項が適用されます。ただし、追加コンポーネントに関する許諾者は、富士通ではなく、追加コンポーネントを提供している MS、マイクロソフトまたはそれらの子会社となります。また、法が最大限認める範囲において、追加コンポーネント及びその関連サービスは現状有姿かつ瑕疵を問わない条件で提供されるものとします。本ソフトウェアとともに提供される、すべての他の注意書き、損害賠償の制限、および特約は、追加コンポーネントに適用されるものとします。本ソフトウェアの使用によりお客様に提供されるかまたは使用可能となるインターネットベースのサービスを停止する権利は、富士通、MS、マイクロソフトおよびそれらの子会社によって留保されます。

・輸出規制

お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国、欧州および日本国の輸出に関する規制の対象となることを認めるものとします。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（アメリカ合衆国の輸出管理規則ならびにアメリカ合衆国、日本国およびその他の政府機関による最終使用者、最終使用者による使用、および仕向地に関する制限を含みます）を遵守することに同意したものとします。詳細については <http://www.microsoft.com/exporting/> を参照してください。

・契約の解除

お客様が本契約の契約条件に違反した場合、富士通あるいは MS は他の権利を毀損することなく、本契約を解除することができます。このような場合、お客様は必ず本ソフトウェアの複製物およびそのコンポーネントをすべて破棄しなければなりません。

・セキュリティに関する注意

セキュリティ違反や悪意のあるソフトウェアから守るために、お客様のデータとシステム情報を定期的にバックアップし、ファイアウォールなどのセキュリティ機能をご利用ください。また、セキュリティアップデートをインストールし、ご利用ください。

添付のディスクなどは大切に保管してください

添付品は、お客様ご自身で大切に保管してください。

これらのディスクは、本製品を購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

添付品を紛失された場合は、ご提供できないものもありますので、ご了承ください。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
 - ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
 - ・長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
 - ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。
- なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はいくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。省電力機能については、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「取り扱い」→「スタンバイ」をご覧ください。
また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

液晶ディスプレイ、フラッシュメモリアドレス、スマートカードホルダー、キーボード、マウス、ACアダプタ、ファン

消耗品について

- ・バッテリーパックや乾電池などの消耗品は、その性能/機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。
- ・一般的にバッテリーパックは、300～500回の充放電で寿命となります。(温度条件や使用環境によって異なります。)

24時間以上の連続使用について

- ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっていません。

注意

- ・本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。
- ・本製品に接続する LAN ケーブルはシールドされたものでなければなりません。

本製品の使用環境は、温度 5～35℃/湿度 20～80%RH (動作時)、温度 -10～60℃/湿度 20～80%RH (非動作時) です (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っていません。

無線 LAN (IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠、IEEE 802.11n ドラフト準拠) 搭載の場合

2.4 DS/OF 4

- ・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) が運用されています。

- (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など) についてご相談してください。
- (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先:「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n ドラフト準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・本製品に内蔵の無線 LAN を 5.2/5.3GHz 帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- ・航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品には、「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの6物質>の含有表示を規定するJIS規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク (非含有マーク)」に対応しています。本パソコンにおける特定の化学物質 (6物質) の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/>

本製品の構成部品 (プリント基板、液晶ディスプレイなど) には、微量の重金属 (鉛、クロム、水銀) や化学物質 (アンチモン、シアン) が含有されています。

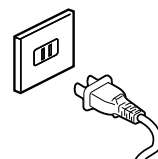
本製品は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
また、バッテリー残量が不十分な場合、バッテリー未搭載で AC アダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

本書の表記

■電源プラグとコンセント形状の表記について



本パソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行2極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行2極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。



■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の順にクリックします。



①「スタート」ボタンをクリックし、②「プログラム」をポイントし、③「Internet Explorer」をクリックする操作を表しています。

■画面例およびイラストについて

画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■CD や DVD の使用について

本文中の操作手順において、CD や DVD を使用することがあります。

必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、ご購入元にご確認ください。

また、周辺機器の使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■本書に記載している仕様とお使いの機種との相違について

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載しています。

ご購入時にカスタムメイドで仕様を変更した機種の場合は、本文中の説明がお使いの機種の仕様と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

なお、本文内において、機種別の書き分けがある箇所については、お使いの機種の情報をお読みください。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
FMV-TC8270	本パソコン/パソコン本体
Microsoft® Windows® XP Embedded	Windows

■お問い合わせ先 / URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や URL は 2008 年 11 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください (→「お問い合わせ先について」)。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

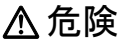
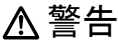
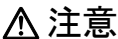
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。




Copyright FUJITSU LIMITED 2008

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

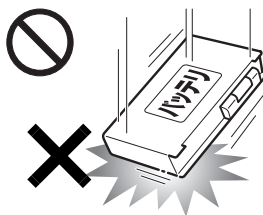
	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■ バッテリーパック／乾電池

危険



バッテリーパックや乾電池(乾電池を使用する機種のみ)には以下のことをしないでください。
破裂・液漏れ・火災・けが・周囲を汚す原因となります。

- ・ 指定された充電方法以外で充電する
- ・ 分解や改造
- ・ 加熱したり、火の中に入れたりする
- ・ 熱器具に近づける
- ・ 火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりする
- ・ 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与える
- ・ 先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加える
- ・ ショートさせる
- ・ 端子部分を濡らしたり、水の中に入れる
- ・ 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに携帯、保管する
- ・ 乾電池を充電する
- ・ 乾電池をハンダ付けする

特に、バッテリーパックは、落下などの衝撃による内部の電池や回路基板の損傷によって、発熱、発火、破裂に至ることがあります。

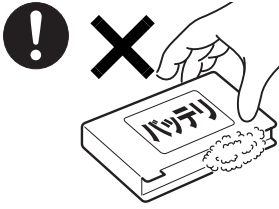
バッテリーパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観にあきらかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。



必ず本製品に添付のバッテリーパックを使用してください。寿命などでバッテリーパックを交換する場合は、必ず指定品を使用してください。

指定以外のバッテリーパックは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。

⚠ 警告

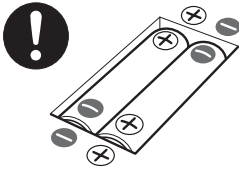


バッテリーパックや乾電池（乾電池を使用する機種のみ）が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。

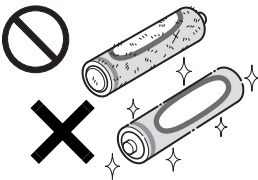
皮膚に障害を起こす原因となります。



乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。

間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

（乾電池を使用する機種のみ）



指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

（乾電池を使用する機種のみ）

⚠ 注意



バッテリー稼働時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリーパックと交換してください。

バッテリーパックは消耗品です。稼働時間が短くなったバッテリーパックでは、内部に使用されている電池の消耗度合いにバラツキが発生している可能性があり、そのまま使用し続けると、障害が発生することがあります。



バッテリーパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

バッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投げられると破裂のおそれがあります。

■パソコン本体、ACアダプタ

⚠ 警告



本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。

発煙・発火・破裂の原因となります。



本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本製品を落としたり、カバーなどを破損した場合は、パソコン本体の電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

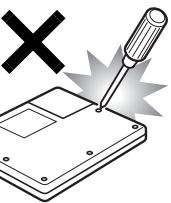
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電、火災の原因となります。



各スロットやディスクトレイなどの開口部から、本製品の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたらないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品をお客様ご自身で修理・分解・改造しないでください。

感電・火災の原因となります。

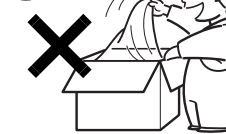
修理や点検などが必要な場

合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



本装置を持ち上げたり運んだりする場合、液晶ディスプレイや液晶ディスプレイの枠部分を持って、装置を持ち上げたり運んだりしないでください。

装置の故障やけがの原因となることがあります。持ち上げたり運んだりするときは、装置の底面あるいは装置中央の両脇を持ってください。



梱包に使用している袋類は、お客様の手の届くところに置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに止めてからお使いください。



取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



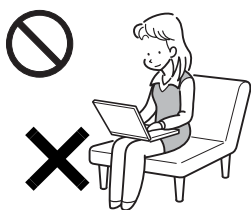
メモリ（拡張 RAM モジュール）の取り付け／

取り外しのために、カバーを外す場合は、お子

様の手が届かない場所で行ってください。また、

作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。

お子様が手を触れると、本体および本体内部の突起物だけがをしたり、故障の原因となります。



パソコン本体やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。また、お様が排気孔付近に近寄らないよう注意してください。

低温やけどの原因になります。



本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の

刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



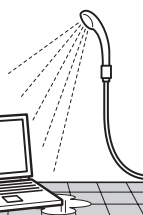
パソコンやパソコン台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。

パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。特に、お様が近くにいる場合はご注意ください。



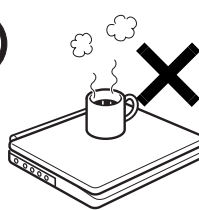
本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。

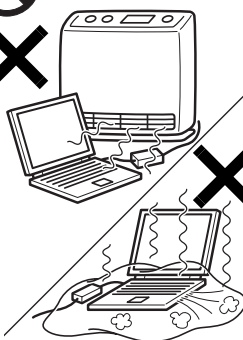


本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。



使用中のパソコン本体やACアダプタは、ふとんなどをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置いたりしないでください。また、排気孔などの開口部がある場合はふさがないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



パソコン台を使う場合は、パソコンが台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。

パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。特に、お様が近くにいる場合はご注意ください。



矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用AC電源など）に接続しないでください。火災の原因となることがあります。



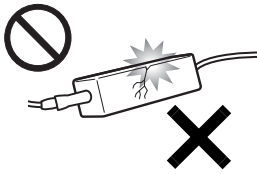
パソコン本体や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。

ケーブルに足を引っ掛け転倒したり、パソコン本体や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。また、お様が容易にケーブルに触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因となります。

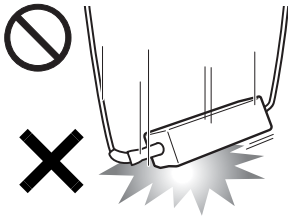


添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源コードを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



ACアダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。感電・火災の原因となります。



ACアダプタ本体を落下させたり、強い衝撃をあてないでください。カバーが割れたり、変形したり、内部の基板がこわれ、故障・感電・火災の原因となります。

修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。故障・火災の原因となります。

⚠ 注意



本製品の上に重いものを置かないでください。故障・けがの原因となることがあります。



本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。



本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内など、温度が高くなるところで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



排気孔付近に触れないでください。また、排気孔からの送風に長時間あたらしないでください。火傷の原因となることがあります。



振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。本製品が落ちて、けがの原因となります。



本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようになしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因となることがあります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるように使用する。



本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品はリチウム電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投げられると破裂のおそれがあります。



液晶ディスプレイを開閉するとき、手などを挟まないよう注意してください。

けがや故障の原因となります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



CD/DVD、PCカードなどのトレーやスロット、モデムやLANのコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。

けが・感電の原因となることがあります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



本製品を移動する場合は、必ずACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続されたケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。

ACアダプタの電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本製品を長期間使用しないときは、安全のためACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、パソコン本体からACアダプタを取り外してください。バッテリーパックや乾電池（乾電池を使用する機種のみ）を取り外せる場合は、バッテリーパックや乾電池も取り外してください。

火災の原因となることがあります。



液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒のおそれがあります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれていません。

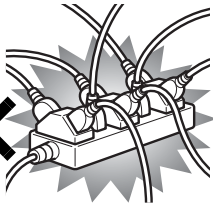
■電源コード

⚠ 警告



電源コード、電源プラグが傷んでいる場合は使用しないでください。

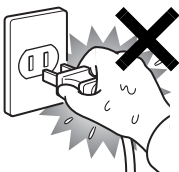
火災・感電の原因となります。



ACアダプタの電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実にさし込んでください。また、タコ足配線をしないでください。

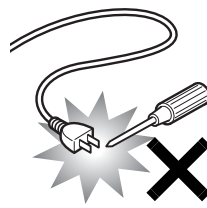
感電・火災の原因となります。

す。

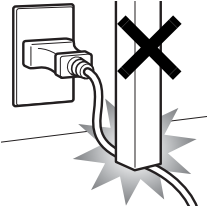


ぬれた手でACアダプタの電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。火災・感電の原因となります。



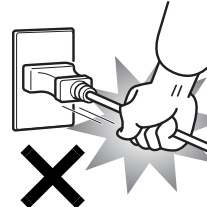
ACアダプタのケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



ACアダプタ本体に電源コードをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけるしないでください。

電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となります。



ACアダプタの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードや電源プラグが傷つき、感電・火災の原因となります。

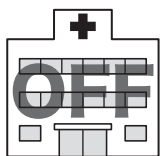


ACアダプタや電源プラグはコンセントからときどき抜いて、コンセントとの接続部分およびACアダプタと電源コードの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。1年に一度は点検清掃してください。

■無線について

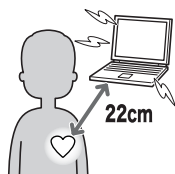
⚠ 警告



無線LAN、Bluetoothワイヤレステクノロジー、FeliCaポートの注意（搭載機種のみ）

次の場所では、パソコン本体の電源を切るか、無線通信機能をオフにしてください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。



- ・ 病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・ 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・ 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・ 満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所

心臓ペースメーカーの装着部位からは 22cm（FeliCa ポートは 12cm）以上離してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。

■ヘッドホン

⚠ 注意



ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

■周辺機器

⚠ 警告



本製品を設置したり、周辺機器の取り付け／取り外しを行うときは、本製品や周辺機器の電源を切った状態で行ってください。

ACアダプタや電源コードがコンセントにつながっている場合は、それらをコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。



周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

⚠ 注意



PCカードやExpressCardなどの使用終了直後は、PCカードやExpressCardなどが高温になっていることがあります。

PCカードやExpressCardなどを取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。

火傷の原因となることがあります。



光学式マウスの底面の光を直接見ないでください。（添付機種のみ）

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。



電話回線ケーブル（モジュラーケーブル）の取り外しや接続を行うときは、モジュラーコンセントの端子部分に触れないでください。（モデム搭載機種のみ）

電話がかかってくる時と電話回線上に電圧がかかるため、電話回線ケーブルを抜いたときにモジュラーコンセントの端子に触れると感電の恐れがあります。



メモリ（拡張RAMモジュール）の取り付け／取り外しを行うときは、指をはさんだり、ぶついたりしないように注意してください。

けがの原因となります。



パソコン本体の電源が入っているときや、ACアダプタやバッテリーパックが装着されているときは、メモリ（拡張RAMモジュール）のカバーを外さないでください。

感電の原因になります。

■ レーザマウスについて

（レーザーマウス添付機種のみ）

クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2001

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

警告



マウス底面から、目に見えないレーザー光が出ています。クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、レーザー光を長時間、直接目に向けると、できるだけさけてください。

1. 必ずお読みください

インターフェースのご使用について

- 本パソコンでは、あらゆる周辺機器の動作を保証するものではありません。ご使用になる周辺機器については、ご購入元にご確認ください。
- スマートカードをお使いになる場合は、別売の「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。
- 指紋センサーをお使いになる場合は、別売の「Secure Login Box」および「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。
- 静脈認証をお使いになる場合は、別売の「Secure Login Box」、「手のひら静脈センサー」、「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。

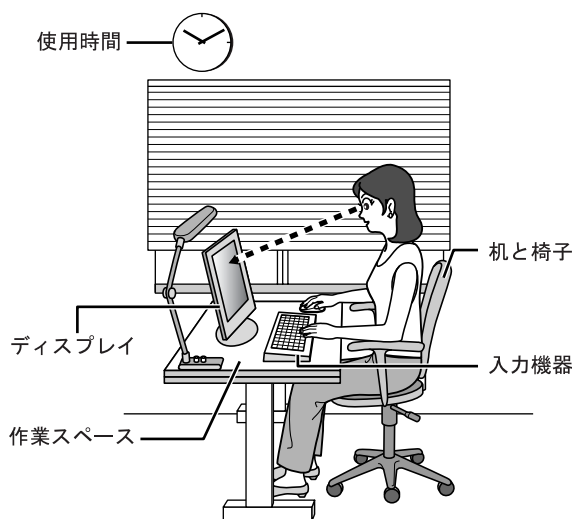
設定の変更について

本パソコンでは、内蔵フラッシュメモリへの書き込みを保護するための EWF 機能が有効になっているため、動作環境や各種ソフトウェアなどすべての設定を変更しても、再起動を行うと初期値に戻ります。

設定の変更を保存する方法や EWF 機能については「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「特長」および「保護管理ツールについて」をご覧ください。

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。



ディスプレイ

- 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンを取り付けたり、画面の向きや角度を調整しましょう。
- 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ディスプレイの上端が目と位置と同じかやや低くなるようにしましょう。
- ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように角度を調整しましょう。
- 目と画面の距離は、40cm 以上離すようにしましょう。

使用時間

1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間を取りましょう。また、休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。

入力機器

キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるようにして使い、手首や肘は机、椅子の肘かけなどで支えるようにしましょう。

机と椅子

- 高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。
 - ・机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
 - ・椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- 椅子は、背もたれ、肘かけ付きを使用しましょう。

作業スペース

机上のパソコンの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。

スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子の肘かけなどを利用して腕を支えましょう。

使用上のお願い

使用および設置に適した場所

- 机の上など平らで安定した場所
- パソコンの周辺に、操作に十分なスペースが取れる場所
- パソコン本体の周囲に10cm以上のすき間を空けられる場所
- コンセントから直接電源をとれる場所
- 有線 LAN でインターネットに接続するときは、接続ケーブルが届く場所

使用および設置に適さない場所

- 極端に高温または低温になる場所
- 結露する場所
- 直射日光の当たる場所
- 衝撃や振動の加わる場所
- 磁気を発生するものの近く
- ほこりの多い場所
- 水など液体のかかる場所
- 湿度の高い場所
- 安定の悪い場所
- パソコン本体が傾いた状態になる場所
- 発熱器具の近くや、腐食性のガスなどが発生する場所
- 無線 LAN を搭載している機種の場合、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所

POINT

- ▶本パソコンの使用環境は、温度 5 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH（動作時）、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 80%RH（非動作時）です。
- ▶結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動したときに起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ▶本パソコンのそばで喫煙をすると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。

パソコン本体取り扱い上の注意

- 衝撃や振動を与えないでください。
- パソコン本体に必要な以上の力を加えたり、操作に必要な部分を押しついたりしないでください。誤動作の原因となることがあります。
- 「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』に記載されている箇所以外は絶対に開けないでください。
- 電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態を持ち運ばないでください。
- 吸気孔、排気孔はふさがないようにください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- 排気孔の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物が熱くなることがあります。
- 排気孔からは熱風が出ています。排気孔付近には手を触れないでください。
- パソコンをお使いになると熱く感じるがありますが、これは故障ではありません。
- パソコン本体内部からは、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音などが聞こえることがあります。これらは故障ではありません。
- 磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えてしまったりするおそれがあります。
- ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。使用中、本パソコンの底面が熱くなり、低温やけどを起す可能性があります。
- 使用するソフトウェアによっては、パームレスト部（手を載せる部分）が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起す可能性がありますので、ご注意ください。
- 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- パソコン本体には静電気に弱い部品が使用されていますので、静電気の発生しやすい場所では使用しないでください。

い。また、使用する前には金属質のものに触れて、静電気を逃がしてください。

- 液晶ディスプレイは次のような点に注意して取り扱ってください。
 - ・液晶ディスプレイを開いたり閉じたりするときは、ゆっくりと衝撃を与えないようにしてください。
 - ・液晶ディスプレイを開くときは、無理に大きく開けないでください。
 - ・液晶ディスプレイをたたいたり強く押ししたりしないでください。
- 液晶ディスプレイを開いたまま、パソコン本体を裏返して置かないでください。
- パソコン本体を立てたり傾けたりした状態で置かないでください。パソコン本体が倒れて、故障の原因となることがあります。
- 無線LANを搭載している機種の場合
無線LAN機器が発信する電波は、携帯電話の電波と同じように電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では、無線LAN機能を停止してください。病院内、電車内、航空機内など／自動ドアや火災報知器の近く／その他、使用規制のある場所など

放熱について

- パソコン本体およびACアダプタは堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコンやACアダプタ表面が高温になることがあります。
- パソコン本体およびACアダプタは、使用中に熱を持つことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。
- 電源が入っているときは、キーボードの上に書類などのおおいかぶさる物を置かないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因になります。
- ほこりの多い環境では使用しないでください。ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。
- 吸気孔の表面にほこりがたまっている場合には取り除いてください。
- 電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じてもスタンバイしない設定にした場合は、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- 台所などの油を使用する場所の近くでは、パソコンを使わないでください。油分がパソコン内部に入ってCPUファンなどに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。

落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、パソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LANケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本パソコンを保護できないことがありますので、ご了承ください。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

パソコンを持ち運ぶときは

- 接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブル、パソコン本体のコネクタを破損するおそれがあります。
- 持ち運ぶときにはポトリプリケータを取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブル、パソコン本体、ポトリプリケータのコネクタを破損するおそれがあります。
- PCカードまたはSDメモリーカードなどのスロットを搭載している機種で、スロットにカードをセットしている場合、持ち運ぶときには必ずPCカードまたはSDメモリーカードなどのメモリーカードを取り外してください。PCカードまたはSDメモリーカードなどのメモリーカードを取り付けたまま持ち運ぶと、パソコンやPCカードまたはSDメモリーカードなどのメモリーカードなどを破損するおそれがあります。
- 液晶ディスプレイを閉じてください。
- パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手で掴んでください。
- パソコンをかばんの中などに入れて携帯する場合は、パソコン本体の背面を下側にして、かばんなどに入れてください。
- パソコン本体やACアダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。

- パソコン本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。
- ワイヤレススイッチのある機種では、スイッチを切り替えてしまうおそれがありますので、かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイの汚れは、乾いた柔らかい布かメガネ拭きで軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。
液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 液晶部分を拭くときは、必ずから拭きをしてください。
水や中性洗剤を使うと、液晶部分を傷めるおそれがあります。
- 化学ぞうきんや市販クリーナーは次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨剤を含むもの

パスワードの取り扱いについて

BIOS のパスワードや Windows のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。パスワードを忘れると、パソコンが使いえなくなり修理が必要となります。

電源を入れる

注意事項

- ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器の取り付けなどは行わないでください。
- 電源を入れてから、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- 電源を入れても画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
 - ・電源ランプが点灯している
キーボードかポインティングデバイスに触れてください。また、【Fn】+【F7】キーを押して、明るさを調整してください。
 - ・電源ランプが点滅している
電源ボタンを押して動作状態にしてください。
 - ・電源ランプが消灯している
電源を入れてください。

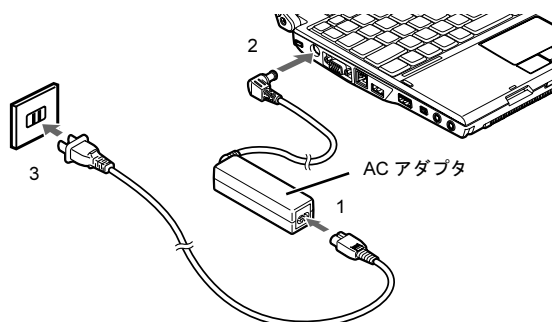
また、バッテリー運用している場合は、状態表示 LED のバッテリー残量ランプを確認してください。本パソコンご購入時やバッテリーが充電されていない場合は、AC アダプタを接続してください。

バッテリー残量ランプについては、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「各部名称」－「状態表示 LED」をご覧ください。

電源の入れ方

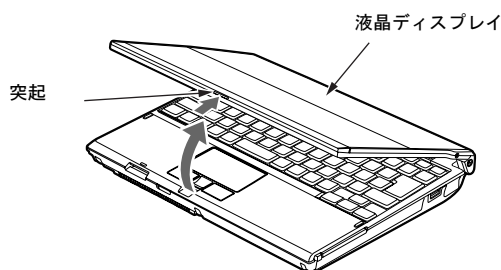
1 AC アダプタを接続します。

AC アダプタに AC ケーブルを接続し (1)、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します (2)。その後、プラグをコンセントに接続します (3)。



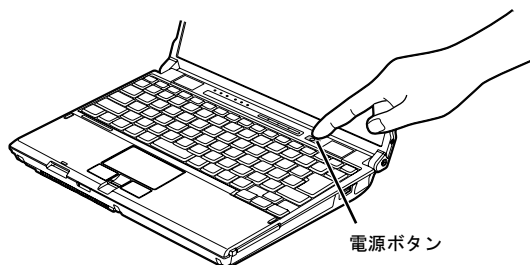
2 液晶ディスプレイを開きます。

パソコン本体と、ディスプレイ上部の中央部分にある突起の両方に手を添えて持ち上げます。



3 電源ボタンを押します。

パソコン本体に電源が入り、自己診断 (POST) が始まります。また、電源ボタンなどが点灯します。ご購入後、初めて電源を入れると、Windows のセットアップ画面が表示されます。その場合は、「セットアップ」(→ P.24) をご覧になり、操作を続けてください。



重要

- ▶ 「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「何もしない」に設定している場合は、電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じないでください。キーボードからの放熱効果が失われ、本パソコンが故障する原因となることがあります。

POINT

- ▶ POST とは、Power On Self Test (パワーオンセルフテスト) の略で、パソコン内部に異常がないか調べる自己診断です。本パソコンの電源が入ると自動的に行われ、自己診断終了後に Windows が起動します。
- ▶ 自己診断 (POST) 中に電源を切ると、自己診断が異常終了したと診断されます。本パソコンでは、自己診断の異常終了回数をカウントしており、3 回続いた場合、4 回目の起動時にエラーメッセージを表示します。自己診断 (POST) 中は、電源を切らないでください。

セットアップ

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定 (Windows セットアップ) について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「注意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

注意事項

- Windows セットアップを行う前は、次の点にご注意ください。
 - ・ 周辺機器を取り付けしないでください。
 - ・ LAN ケーブルを接続しないでください。



Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。

上記の項目は、セットアップが完了してから、行ってください。

- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- 初めて電源を入れるときには、必ず AC アダプタを取り付けてください。
- Windows セットアップが進められなくなったときは、「セットアップで困ったときは」(→ P.25) をご覧ください。

- 1 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます(→ P.23)。

自動的に初期設定が行われます。この作業には数分間かかります。

この間、設定を手動操作する必要はありません。

重要

- ▶ 初期設定中は、絶対に電源を切らないでください。初期設定中に電源を切った場合、設定が正常に行われず、パソコンが起動できない、再起動を繰り返す、ソフトウェアの動作がおかしいなどの不具合が発生することがあります。誤って初期設定中に電源を切ってしまう、上記不具合が発生した場合は、「リカバリ」(→ P.27) および「リカバリを実行する」(→ P.27) をご覧になり、本パソコンのリカバリを行ってください。

POINT

- ▶ 初期設定は、ご購入後、またはリカバリ後初めて電源を入れたときに、自動的に行われます。

初期設定が完了すると、自動的に本パソコンが再起動されます。

再起動後、「Windows へようこそ」ウィンドウが表示されます。

- 2 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押してログオンします。「ユーザー名」に「Administrator」と入力されていることを確認し、「パスワード」は入力せずに「OK」をクリックします。

これで、Windows セットアップが完了しました。

この後は、「セットアップ後」(→ P.25) をご覧になり、必要な操作を行ってください。

セットアップ後

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、次の操作を行ってください。

■Administrator のパスワードの設定

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「ユーザー アカウント」をクリックし、Administrator のパスワードを設定してください。

POINT

- ▶ 内蔵フラッシュメモリへの書き込みを保護するための EWF 機能が有効になっているため、動作環境や各種ソフトウェアなどすべての設定を変更しても、再起動を行うと初期値に戻ります。
設定の変更方法や EWF 機能については「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「特長」および「保護管理ツールについて」をご覧ください。

セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

■セットアップ開始後、数十分たっても「Windows へようこそ」ウィンドウが表示されない

- 電源ランプが点灯している場合は、キーボードかポインティングデバイスに触れてください。点滅している場合は、スタンバイ状態に移行していることがありますので、電源ボタンを押して動作状態にしてください。
- 途中で電源を切ると、次に電源を入れたときに再起動を繰り返したり、「システムのインストールが完全ではありません」などのメッセージが表示され、Windows が起動しなくなったりすることがあります。この場合は、「FUJITSU」のロゴが表示されているときか、またはメッセージが表示されているときに、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切り、リカバリを行ってください。
リカバリについては、「リカバリを実行する」(→ P.27) をご覧ください。

■画面が見にくい

- 液晶ディスプレイの角度を見やすい位置に調節します。
- 次のキーを何度か押して輝度を調節します。
【Fn】+【F6】キーを押すと、表示が暗くなります。
【Fn】+【F7】キーを押すと、表示が明るくなります。

電源を切る

注意事項

- 電源を切る前に
 - ・すべての作業を終了し、データを保存してください。
 - ・内蔵フラッシュメモリアクセス表示 (→「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「各部名称」-「状態表示 LED」) が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できないことがあります。また、EWF 機能が無効になっている場合、内蔵フラッシュメモリ内部のデータが破壊される可能性があります。
- 通常の手段で電源が切れない場合や再起動できない場合、4 秒以上電源ボタンを押し続けて、電源を切ってください。ただし、EWF 機能が無効になっているときに電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ると、内蔵フラッシュメモリ内部のデータが破壊されるおそれがあります。緊急の場合以外は行わないでください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れしないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- 電源を切るときに、ノイズが発生することがあります。その場合は、音量を下げてお使いください。
- 液晶ディスプレイは静かに閉じてください。閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

電源の切り方

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
- 2 「シャットダウン」を選択して「OK」をクリックします。Windows が終了し、本パソコンの電源が切れます。また、電源ボタン (→ P.23) のランプが消えます。

POINT

- ▶ 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
 1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
 2. 「シャットダウン」をクリックします。
「Windows のシャットダウン」ウィンドウが表示されます。
 3. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。
それでも電源が切れない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押ししてください。

- ▶ 手順 1 で表示された画面で、「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再び内蔵フラッシュメモリから OS を読み込み直すことです。
- ▶ 手順 1 で表示された画面で、「スタンバイ」を選択すると、本パソコンが省電力状態になります。詳しくは、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「取り扱い」－「スタンバイ」をご覧ください。
- ▶ パソコンは電源を切った状態でも少量の電力を消費しているため、AC アダプタを取り外した状態ではバッテリーの残量が少しずつ減っていきます。バッテリーの残量を減らさないためには、AC アダプタを接続しておいてください。
なお、長期間パソコンを使用しない場合には AC アダプタやバッテリーパックを取り外してください。お使いになる前にはバッテリーパックを取り付け、AC アダプタを接続してから電源を入れてください。
詳しくは、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「取り扱い」－「バッテリー」をご覧ください。

2. 必要に応じてお読みください

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

- 1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【Enter】キーを押します。
ポップアップメニューが表示されます。



POINT

- ▶ ポップアップメニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源を切る」(→ P.25) をご覧ください。
- ▶ BIOS セットアップで「セキュリティ」メニューの「起動時のパスワード」を使用する設定にした場合、パスワードを入力し(指紋を登録した場合は指紋認証を行い)、認証画面が消えた後、すぐに【Enter】キーを押してください。

- 2 【↓】または【↑】キーを押して「BIOS セットアップ」を選択し、【Enter】キーを押します。
BIOS セットアップが起動します。

- 3 「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行した後、設定を保存して BIOS セットアップを終了します。

重要

- ▶ 「標準設定値を読み込む」を実行しても、管理者用パスワード、ユーザー用パスワード、および所有者情報の設定は、現在お使いの状態のまま変更されません。

リカバリ

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、リカバリを行います。

リカバリとは、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。

注意事項

- リカバリを行うと、システムのデータはすべて失われます。
- 周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外してから、リカバリを実行してください。
- リカバリを実行し Windows のセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- 本書ではフラットポイントおよびマウスでの操作を前提に記述してあります。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

リカバリを実行する

本パソコンのシステムを、ご購入時の状態に戻すリカバリの方法を説明します。

POINT

- ▶ リカバリに関する注意事項(→ P.27)をよくお読みの上、リカバリを行ってください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の準備を行ってください。

■ AC アダプタを接続する

リカバリを実行するときには、必ず AC アダプタを接続してください。

■ BIOS 設定をご購入時の状態に戻す(→ P.27)

BIOS の設定をご購入時の状態に戻します。

POINT

- ▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、エラーメッセージが表示されることがあります。

■ポータブル CD/DVD ドライブを接続する

別売のポータブル CD/DVD ドライブを接続してください。
ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブ
ユニット (FMV-NSM52)」または「DVD-ROM&CD-R/RW ド
ライブユニット (FMV-NCB53)」をお使いください。

POINT

- ▶ 本パソコンでは、「FMV-NSM52」または「FMV-NCB53」をバスパワー（本パソコンと接続したケーブルから電源が供給される）モードで使用できます。
バスパワーモードで使用する場合は、ドライブ本体の裏面にあるスイッチを次のように設定してください。
 - ・ スイッチ 1: 「ON」、スイッチ 2: 「OFF」、スイッチ 3: 「OFF」、スイッチ 4: 「OFF」ご購入時、スイッチ 2 は「ON」に設定されています。スイッチの設定を、ご購入時の設定や上記の設定以外に変更すると故障の原因になります。ご注意ください。スイッチの場所については、「FMV-NSM52」または「FMV-NCB53」に添付のマニュアルをご覧ください。

リカバリ方法

- 1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【Enter】キーを押します。
ポップアップメニューが表示されます。

POINT

- ▶ ポップアップメニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源を切る」(→ P.25) をご覧ください。
- 2 【↓】または【↑】キーを押して「起動メニュー」を選択し、【Enter】キーを押します。
「起動メニュー」が表示されます。
 - 3 「リカバリディスク」を、ポータブル CD/DVD ドライブにセットします。
 - 4 【↓】または【↑】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
しばらくすると、「使用許諾」ウィンドウが表示されます。
 - 5 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックします。
「SMARTACCESS/Premium」のライセンスについてのメッセージが表示されます。

- 6 「OK」をクリックします。
「システムリカバリ」ウィンドウが表示されます。

- 7 「実行」をクリックします。
リカバリが開始されます。
リカバリが終了すると「システムのリカバリは完了しました。」と表示されます。

- 8 「リカバリディスク」をポータブル CD/DVD ドライブから取り出します。

- 9 「OK」をクリックします。

- 10 ポータブル CD/DVD ドライブを取り外します。

- 11 電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切るか、「再起動」をクリックして再起動します。

POINT

- ▶ 電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切った場合は、電源が切れた後 10 秒以上待ってから電源を入れてください。

- 12 「セットアップ」(→ P.24) をご覧になり Windows のセットアップを行います。

以上でリカバリは終了です。

お客様が設定した各種設定内容は、設定前の状態に戻ります。

廃棄・リサイクル

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

■使用済みバッテリーの取り扱い

- ・リチウムイオン電池のバッテリーパック、バッテリーユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- ・使用済みバッテリーは、ショート防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- ・バッテリーを火中に投げると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

バッテリーの仕様については、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「仕様一覧／技術情報」－「本体仕様」、またはバッテリーの取扱説明書をご覧ください。

●法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)をご覧ください。



このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

Li-ion

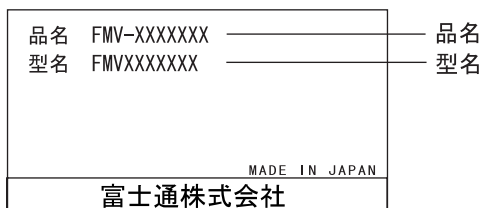
お問い合わせ先について

■お問い合わせの前に

あらかじめ次の項目について確認してください。

□品名／型名の確認

パソコン本体のラベルに記載されています。



□修理を依頼する場合

- 「リカバリディスク」の用意
必ず「リカバリディスク」を添付してください。

■お問い合わせ先

次の連絡先へお問い合わせください。

こんなときには	こちらへ
添付品の欠品	ご購入元にご相談ください。
故障かなと思われたとき	「FMVマニュアル」にある『製品ガイド』の「トラブルシューティング」をご覧ください。それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、「富士通ハードウェア修理相談センター」までお問い合わせください。 <お問い合わせ先> 通話料無料：0120-422-297 受付時間：9：00～17：00（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く） 部品送付による修理の場合、良品部品をお届け後、窓口よりお届けの確認と不良部品の引取日程などについてご連絡いたします。あらかじめご了承ください。
添付のソフトウェアのお問い合わせ	「FMVマニュアル」にある『製品ガイド』の「トラブルシューティング」－「お問い合わせ先」をご覧ください。
技術的なご質問・ご相談	「FMVマニュアル」にある『製品ガイド』をご覧ください。それでも不明な点がございましたら「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお問い合わせください。ご質問、ご相談についての回答は専門技術員からのコールバックとなります。 <お問い合わせ先> 通話料無料：0120-950-222 受付時間：9：00～17：00（土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）
富士通サプライ品のご購入	富士通サプライ品のご購入については、「富士通コワーコ株式会社」の「お客様総合センター」までお問い合わせください。 <お問い合わせ先> 通話料無料：0120-505-279 受付時間：9：00～17：30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く） URL：http://jp.fujitsu.com/coworco/

- ・電話番号は、おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・「富士通ハードウェア修理相談センター」、および「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」は、ダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

■有償サービス「SupportDesk」のご案内

システムの導入支援からソフトウェアのQ&A、万一のハードウェアトラブル時の修理など、お客様のパソコンに関するビジネスライフをトータルにサポートするサービスをご用意しております。詳しくは、富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。

URL：http://segroup.fujitsu.com/fs/products/pc/

FMV-TC8270

取扱説明書
B6FJ-0271-01-00

発行日 2008年11月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

⑦ 0810-1



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の
審査基準（2008年度版）を満たしています。
詳細は、Webサイト <http://www.pc3r.jp>
をご覧ください。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出してください。



* B 6 F J 0 2 7 1 0 1 *